

講義名称	身体表現 I	担当教員名	清水 洋生
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の表現技術 (ET) 選択必修	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMET1134

授業のキーワード	身体 ころろ 動かす あそび 導入
授業の概要	表現行為の本質は「身体」を媒介としていることです。身体表現Ⅱへの導入として「身体」を使った様々な遊びを体験し、「表現」への導入として行きたいと思いません。
期待される学習成果 (目標)	「表現」を導くための遊びを体験しましょう。表現する土台を体得することができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績評価の方法、受講上の注意事項、質疑応答
2	身体を使った遊び	道具を使用せず、ボディーコミュニケーションを中心とした遊びを実践します。
3	鬼 (ごっこ) 遊び (1)	ウォーミングアップ、様々な鬼 (ごっこ) 遊びを実践します。
4	鬼 (ごっこ) 遊び (2)	ウォーミングアップ、様々な鬼 (ごっこ) 遊びを実践します。
5	生活素材を使用した遊び (1)	ウォーミングアップ、日常生活で利用する道具＝「生活素材」を利用した遊びを実践します。
6	生活素材を使用した遊び (2)	ウォーミングアップ、日常生活で利用する道具＝「生活素材」を利用した遊びを実践します。
7	授業前半のまとめ	授業前半の振り返りのため、ノート作成を実施します。
8	レクリエーションダンス (1)	保育所や幼稚園で実践されている (実践可能な) レクリエーションダンスを体得します。
9	レクリエーションダンス (2)	保育所や幼稚園で実践されている (実践可能な) レクリエーションダンスを体得します。
10	レクリエーションダンス (3)	保育所や幼稚園で実践されている (実践可能な) レクリエーションダンスを体得します。
11	レクリエーションダンス (4)	保育所や幼稚園で実践されている (実践可能な) レクリエーションダンスを体得します。
12	レクリエーションダンスの展開 (1)	グループ分け。保育所や幼稚園などで実践可能なダンスを1曲選定します。
13	レクリエーションダンスの展開 (2)	各グループで実践練習を行います。
14	レクリエーションダンスの展開 (3)	各グループで実践練習を行います。授業の後半では発表の準備を来ないます。
15	レクリエーションダンスの展開 (4)	各グループの発表を行います。

定 期 試 験	定期試験は実施しない
授 業 時 間 外 学 習	授業の最後に次回のテーマと内容、準備学習について伝える。
評 価 方 法	実技・レクリエーションダンス (60%)、授業への取組 (40%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	なし
参 考 文 献	なし